

第11回 三珠町・市川大門町・六郷町合併協議会

平成17年6月28日
午後3時00分開議
三珠町総合福祉センター 大会議室

第1 開会

第2 会長あいさつ

第3 議事

(1) 協議事項

協議第77号 市川三郷町の町章について

第4 その他

第5 閉会

開会 午後 2時55分

司会（原川事務局長）

本日はご多用の中、ご出席をいただきまして、ありがとうございます。

ただ今から、第11回三珠町・市川大門町・六郷町合併協議会を始めさせていただきます。

始めに、開会の言葉を副会長であります、市川大門町の久保町長からお願いいたします。

久保市川大門町長

皆さま、こんにちは。

毎日、暑い日が続いております。

沖縄、それから奄美、鹿児島の方は、梅雨が明けたというふうなニュースが入ってきておりますし、また北陸、東北の東部のほうは梅雨入りしたということでございますが、新潟のほうでは280ミリくらい降っているようで、なにかかなり集中豪雨だということで、被害も出ているようでございますが、この山梨県も本当にもうちょっと雨がほしいなという感じがしております。芦川も、もうカラカラに干上がっていて、農作物への被害、あるいは田植えの時期なんですけれども、非常に心配されるところでございます。

また、六郷町の町議会議員でありました、上田みさを議員におかれましては、ご逝去なされまして、心からご冥福をお祈り申し上げたいというふうに思います。

今日は、いよいよ町章の選定ということで、委員長さん、お見えくださっておりますけれども、341点の中から、選考委員の皆さんが苦心して、最後4点までに選んでいただいたというところでございます。選考委員の皆さまに心から感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

いよいよ今日、町章が決まるということでございますが、それから合併まで、あと3カ月になりました。本当に最後の9合目、頂上というところまで来ております。どうか一層のご理解とご協力を賜りまして、最後までやり遂げたいというふうに思います。

今日は、どうぞよろしく願い申し上げまして、ごあいさついたします。

よろしく申し上げます。

司会（原川事務局長）

続きまして、会長であります三珠町の水上町長から、ごあいさつ申し上げます。

水上三珠町長

大変、お忙しいところ、全員の委員さんにお集まりいただきまして、第11回が開かれますこと、御礼申し上げます。

本当にここ数年、なんか異常気象の連続でございまして、5月は11%、6月も31%というような小雨の梅雨時期でございまして、大変、心配しているところでございます。

過日、町章委員会の皆さんにお集まりいただきまして、341点の大変の図案を全国の皆さんからいただきましたが、その中で4点に絞られました。この4点をその皆さんにお決めいただくのが、一番、安易な方法かと思いますが、合併の問題が始まるから、ずっと中心になって討議してきた皆さん方に、最終的に決定していただくのが、私とすれば1番いいのではないかなということで、今日は大変お忙しいところを、こんなお集まりをいただいたわけですが、名前といい、町章といい、あくまでシンボルでございまして、大変な作業だと思いますが、皆さんの英知を絞り上げて、そして決定していただければと思います。

いよいよ、あと3カ月になりました。8月には、市川では閉町式、うちでは9月10日、六郷町では9月19日でしたか、そんな予定を組んでいるようでございます。いよいよ、長いそれぞれ

れの町が閉町して、そして新しい新町の誕生になるわけでございます。最後のひと踏ん張りを、皆さんのご努力によって仕上げたいと思います。

今日は、大変な作業でございます。よろしく願い申し上げまして、簡単ですが、ごあいさつといたします。

司会（原川事務局長）

ここで、来賓の方々をご紹介させていただきます。

山梨県峡南地域振興局企画振興部部長 小泉実様、山梨県総務部市町村課副主幹 萩原憲二様、山梨県峡南地域振興局企画振興部主査 田中尚典様、山梨県総務部市町村課副主査 木村竹実様、以上でございます。

それでは早速、会議に入りますが、本日の会議には委員全員のご出席をいただいておりますので、規約第10条の規定により、会議が成立していることをご報告させていただきます。

それでは、会議の議長につきましては、規定によりまして会長が務めることとなっておりますので、水上会長をお願いいたします。

水上会長、よろしくお願いいたします。

議長（水上三珠町長）

それでは、しばらくの間、議長を務めます。ご協力をいただきまして、スムーズに進行できますよう、よろしくお願い申し上げます。

それでは、次第によって始めさせていただきます。

次第3の議事に入ります。

協議第77号 市川三郷町町章選考についてを議題といたします。

町章の選考につきましては、選定委員会で選考作業を進めていただいておりますので、その経過を委員長から報告をお願いいたします。

選考委員会委員長（村松武治委員長）

市川三郷町町章選定委員会の委員長であります、村松です。よろしくお願い致します。

本日は、お忙しいところ、ご苦労さまでございます。

町章選定委員会の報告をさせていただきたいと思致します。

お手元の資料をお開きいただきたいと思います。

私たち町章委員会は、町章候補として「優秀4作品」の報告をさせていただきます。今までの選定の経過を踏まえまして、若干、説明させていただきたいと思致します。

1ページを説明いたしますが、このページは市川三郷町「町章選考基準」であります。当委員会といたしましては、この選考基準に基づきまして、選考を進めてきたところでございます。それでは具体的にどのような手順で選考を進めてきたか、ご説明をさせていただきたいと思致します。

2ページの町章選考作業手順をご覧いただきたいと思います。まず、応募期間ですけれども、皆さん、ご承知のとおり5月1日から31日までの1カ月間ございました。応募状況につきましては、先ほど市川の町長さんにも説明をしていただきましたけれども、3ページでございます。応募総数で341点ございました。内訳といたしましては、三珠町が32点、市川大門町が86点、六郷町が20点、その他県内が115点、県外が88点ございました。男女別に見ますと、男の人が216点、女性が125点ということでございます。また、年齢的には4歳から86歳までの幅広い年齢層の方から応募をいただいたところでありまして。

それでは、当委員会といたしまして、この341点の応募作品の中から、どのような手順で選考を進めてきたか、ご説明をいたします。選考にあたりましては、応募のありました341点の

全作品を1点ずつ審査選考するには、時間的にも困難であると考えまして、あらかじめ山梨県工業技術センターにご協力をお願いし、一次選考作業をしていただきました。1から5段階まで分類していただきまして、3ページの下の方に、一次選考作業5段階の分類というのが、からまでありますけれども、この分類をしていただいたところでございます。

から順次、良い作品とご承知をいただきたいと思います。

としましては、選考基準と合致し、デザイン的にも優れているものを15点といたしました。

としましては、ほどではないけれども、優れており選考対象で良いものを15点。

としまして、どちらともいえないが、検討してよいものと思われるものが40点ありました。

としまして、あまり町章としては好ましくないもの。

としまして、全く選考の対象にならないもの。

という考えで分類をしてきたところであります。

それでは、申し訳ございませんが、再度、2ページを見ていただきたいと思います。

2段目の6月1日から7日までですが、今、ご説明いたしました5段階分類の、一次選考をしたところでございます。この分類を踏まえ、6月8日に開催しました第1回選定委員会では2次選考としまして、5段階分類、
、
の3ランクを合わせた70作品の中から50作品の選考を行いました。さらに、第3次選考といたしまして、第2次選考で選んだ50作品の中から、委員による投票、各委員持ち票数5票といたしまして、投票をしたところでございます。それで、上位10作品を選考したところでございます。この10作品につきまして、他の市町村章との類似作品がないかを調べるために、工業技術センターの山梨県知的所有権センターにご協力を依頼いたしまして、調査をお願いしたところでございます。調査した結果といたしまして、10作品中4作品について、他の市町村町章との類似作品と判断されまして、候補から除外したところでございます。

次に24日に開催いたしました、第2回委員会におきましては、4次選考といたしまして、10作品のうちから、類似作品4作品を除外した6作品の中から、委員の投票により町章候補優秀4作品を決定したところでございます。皆さま方の目の前の、中央のテーブルの上に展示してあります作品が、当委員会として選考いたしました、優秀4作品でございます。

以上、4作品の選考までの経過をご報告いたしまして、当委員会からの説明を終わらせていただきたいと思います。

どうも、ありがとうございました。

議長（水上三珠町長）

どうも、ご苦労さまでした。

委員長から、町章選考経過についての説明が終わりました。

続いて事務局から、これからの選考方法について、説明をお願いします。

事務局（長沢局員）

事務局の長沢です。

よろしく申し上げます。

先ほど、委員長さんから報告がありましたように、341点の応募作品があり、現在そこに4点ある作品、これが最終的に残った作品ということでございます。

今日は、この4作品の中から、最優秀作品と同時にほかの3点についても、順位を決めていただきたいと思います。なぜ、順位を決めるかといいますと、ちょっと毎日の新聞があるのですが、今年の5月12日の新聞でございます。茨城県の城里町というところで、内定した町章の図案が

岐阜の旧白鳥町と酷似、次点作品に切り替えというような記事がございます。当選者は30万円の賞金を返還したというようなことがございまして、類似作品というのが、完全にこれは類似作品ではないということがいえません。調べることも大変、困難ということでありますので、まず最優秀作品を選ぶ。それから2位、3位、4位というふうに順位を決めていただく。もし万が一にも、城里町と同じようなことがございました場合には、次点の作品を繰り上げるというような形で、順位を決めさせていただきたいと思います。

それから、選ぶにあたっては、そこにカラーですけれども、あまり色にとらわれずといいますか、これがきれいだというような考え方ではなくて、そこに白・黒の作品もございまして、バッジにしたり、町旗にしたり、あるいは封筒等に印刷をするということで、白・黒の使い方も多分にございまして、形状というのを重視させていただきたいと思います。

それから、投票の説明でございますけれども、まず皆さま方のお手元に、この用紙がございます。

そこに、まず委員のご自身のお名前を左のほうに書いていただく。それから1、2、3、4というふうに番号を振っております。この番号は作品の1、2、3、4と同じ、対応しておりますので、自分がいいと思った作品、3番が良ければ4点、次に一番いい点がこの下を書いてありますように、1位に4点、2位に3点、3位に2点、4位に1点というような付け方をさせていただきまして、順番に自分がいいなと思った作品から、4点、3点、2点、1点と付けていただきたいと思います。これを集計いたしまして、最も得票数が多かった作品、これが新町の町章作品というふうに決定させていただきたいと思います。

よろしくお願いたします。

それでは、まず皆さま、ちょっと立っていただいて、作品のほうを見ていただきたいと思います。

市川大門町委員（波多博委員）

すみません、市川の波多でございますが、今4点、そこでございますが、作品の意図をしているようなものを、何かありましたら、言っていただくと分かりやすく、いいのではないかなと。例えば模様とか、色とか、色はあまりこだわらないというような話もございましたけれども、ちょっと説明していただければ、分かりやすいのですが。

事務局（長沢局員）

今、集まっていた中で、作品の趣旨をご説明しようと思っております。

ちょっと移動をお願いしたいと思います。

席に座っていると、ちょっと見えなと思いますので・・・。

それでは、ナンバー1の作品でございます。

市川三郷町の文字、平仮名の「イ」、それから数字の「3」をモチーフに、緑の自然と青の自然の中、学ぶまち・暮らしやすいまち・楽しいまちを3つの丸で表し、その基本方針を中心に町が未来に向かって、円滑にいくことを描きました。また市民、中心の丸のことですけれども、市民を中心に行政・企業が力を合わせて、未来に向かっていくことを表現いたしました。というような趣旨でございます。

それから、ナンバー2でございます。新町のコネクトである、学ぶまち・暮らしやすいまち・新しいまちを、それぞれ緑・朱・青の帯で表現し、周りを輪で囲むことで、基本方針のやすらぎを表すのと同時に、旧3町の結束を表現しています。上部の円は人を表します。安心して故郷に帰ってこられる町であってほしいという願いもあり、全体のホルムとしては、草花をイメー

ジしています。古き良き時代と斬新で新しいイメージ等、掛け合わせることを心掛けて、デザインいたしました。ということでございます。

では、ナンバー3でございます。市川三郷町の漢字の市川の「市」と、アルファベット「I」の文字を基調に、豊かな自然の中で、やすらかに暮らす市川三郷町民を象徴的に表しました。緑は大地、だいたいは太陽で、やすらぎづくりの市川三郷町をイメージしました。シンプルで親しみやすく、多くの人に長く愛されるデザインです。また、縮小・短縮・モノクロにも耐えられ、多用途な使い方ができるということでございます。

ナンバー4でございます。市川三郷町の平仮名の「い」と数字の「3」をモチーフに、青は未来へと続く澄み切った空・川・水に、緑は豊かな自然・大地に、だいたいは町民の情熱、太陽に未来に向かって輝かしい発展・繁栄する市川三郷町の、明るく元気な力強い姿を3つの波型、波型というのは波ということでございますので、真ん中の3つのものであると思います。3つの波型は合併する3町村と、学ぶまち・暮らしやすいまち・楽しいまちを表現したものということでございます。円は3町内の和、平和の和ですね、それから車輪の輪ということで、「和」と「輪」を表現しました。ということでございます。

以上です。

議長（水上三珠町長）

町章の選考方法について、説明が終わりました。

何か質問等ございますか。

質問、ご意見がなければ、質疑を終わってもよろしいですか。

（なし）

それでは、お諮りします。

協議第77号について、事務局の説明どおり出席委員の投票により、最多得票獲得のデザインを最優秀作品と決定することに、異議ございませんか。

（異議なしの声）

異議なしと認めます。

よって、協議第77号は事務局の説明のとおり、最多得票獲得のデザインを最優秀作品に決定することといたします。

投票準備のため、暫時休憩いたします。

休憩 午後 3時20分

再開 午後 3時22分

議長（水上三珠町長）

再開します。

投票漏れはありませんか。

（なし）

ないようですね。

それでは、開票をお願いします。

では、開票中休憩します。

休憩 午後 3時25分

再開 午後 3時32分

議長（水上三珠町長）

集計が済みましたようですから、会議を再開いたします。
発表します。

事務局（望月次長）

それでは、集計結果が出ましたので、発表したいと思います。
まず1番の作品、59点です。
2番の作品、60点。
3番、62点。
4番、59点。

事務局も驚くほど点数が均衡してしまっていて、結果としまして、得票数の多いもの、3番が一応、最優秀賞、1番となります。次に2番、60点のもの、これが次点。1番と4番が、実は59点と同じですけれども、一応、順位を付けるということで、1位の得票が多かったものということで、4番に4点を入れた方が9名いらっしゃいます。1番のほうは4点を入れた方が8名でした。それで同じ59点ですけれども、4番のほうを3位、1番のほうを4位ということで、最優秀賞は3番、次点が2番、3位が4番、最終4位が1番というように、ご報告させていただきます。

以上です。

議長（水上三珠町長）

ただ今、事務局から説明がありましたが、説明どおりの決定ということで、ご承知いただいて、いいでしょうか。

（異議なしの声）

では、拍手をもって確認してください。

（拍手）

ありがとうございました。

それでは、最多得票を獲得した、3番のデザインを最優秀作品と決定いたします。

補足はありますか。

事務局で何か・・・。

事務局（望月次長）

では、どちらの方かということで、実は我々も貼って隠してあるのですが・・・。

厳重に選定委員のときも、名前が分からない中でやってきまして、今、初めて発表します。

この方は、青森県弘前市の方です。

工藤和久さん、年齢が40歳、男性、自営業の方ということになります。

次に、次点になりました方ですが、この方は東京都多摩市の方です。

中澤夏希さん、男、年齢30歳、グラフィックデザイナーです。

市川大門町で生まれ育ったという方が、この方。先ほどちょっと説明しましたが、次点です。

3位のこの作品ですけれども、この方は新潟県上越市の方です。

金津博さん、年齢は60歳、男性、やはり自営業ということなんです。

最後、1番の4位になったものですが、この方は福岡県北九州市の方です。

東信慶さん、年齢は47歳、男性です。この方は会社員ということで記載されております。

以上、4作品の応募者の発表を終わらせていただきます。

六郷町委員（村山敬幸委員）

参考のために、4歳とか86歳とかというのは、

事務局（望月次長）

4歳の作品は、ちょっと私が見た限りでは、親御さんがお手伝いをしたような形跡はございました。

あと、まだ6歳とか、いっぱいいらっしゃいまして、夢のある絵を描いた作品もありまして、ちょっと今日は数が多いもので、ここにお持ちしておりませんけれども、あと年配の方も、かなり筆遣いなんかもしっかりして、最初、委員長さんが説明した50人の候補の中にも、もう60歳くらいの方もたくさん候補者として入っております。

議長（水上三珠町長）

では今、事務局から発表されました、1位から4位までの順番が決まりましたが、この3番の工藤さんを最優秀賞としていいか、4点を発表どおり決定することで異議ございませんね。

（拍手）

では、説明してください。

事務局（望月次長）

それでは、このあとの我々の仕事になるのですが、これからいろいろバッジに使ったりとか、封筒とか、もしくは町旗ですね、そういうものに印刷をする関係で、一番ベストな状態で使えるような形に、補作という作業があります。これを今から、工業技術センターのアドバイスをいただきながら行いまして、確認をした上で、それが出来上がったところで、一般公表と。

あくまでも、デザイナーのデザインですから、あまり大きく変えるということは、できないと思いますが、バランスの良いように、ちょっと補作があるかもしれません。今のところ、公表は7月の下旬、10日ぐらいまでに補作等が済みまして、公表したいと思っております。

以上です。

議長（水上三珠町長）

それでは、ありがとうございました。

おかげさまで決定することができました。

以上で、本日の議事については終了いたします。

これをもって、議長の職を解かせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

司会（原川事務局長）

それでは、次に次第4のその他でございますが、委員の皆さまからご意見などありましたら、ご発言をお願いいたします。

ございませんでしょうか。

（なし）

それでは、ないようですので、事務局から合併準備の状況について、ご報告させていただきます。

合併準備につきましては、各町から職員9人を選抜していただきまして、それに合併協議会の職員6人を加えた、合計33人で合併準備班を設置しております。準備班をさらに総務班・財政班・庁舎等整備班の3班に分けて、準備を進めているところでございます。

その中の総務班でございますが、所掌事務につきましては、機構および組織に関する事、事務文書に関する事、職員の給与に関する事等でございます。このうち、組織につきましては、前回の協議会において、ご報告したとおり終了しております。現在は、新しい組織の事務分掌の原案を作成いたしまして、明日29日に最終調整をした後、分科会からのヒアリングを実施する

予定であります。

次に、財政班の所掌事務につきましては、予算編成に関すること、財産に関すること、物品調度に関すること等でございます。このうち、予算編成につきましては、各町の担当者から旧町の当初予算に基づいた、暫定予算書作成のための予算要求書を提出していただきまして、現在、合併協事務局におきまして、集計作業を行っているところでございます。

次に、庁舎等整備班の所掌事務でございますが、庁舎移転計画に関すること、庁舎等の整備に関すること、合併前工事に関すること等でございます。移転作業計画につきましては、行政組織が終了しておりますので、引越し業務委託を7月中には発注したいと考えております。また、新町のサイン・看板等の整備につきましては、現在、設計中でありまして、7月の早い時期に工事の発注をする予定となっております。

例規につきましては、700余りの条例、規則等の第1次原案の調整作業を今月中に終了いたしまして、来月中には第2次原案の調整作業を終了する予定となっております。第2次原案の調整作業が終了すれば、仮例規を作成いたしまして、すべて終了することとなります。

その他、合併までに終了しなければならない、多岐に渡る準備作業を職員一丸となって、鋭意進めているところであります。

以上、簡単ですが、合併の進捗状況の報告とさせていただきます。

この件につきまして、何かご質問等ございましたら、お願いいたします。

(な し)

よろしいでしょうか。

それでは、閉会の言葉を副会長であります、六郷町の遠藤町長をお願いいたします。

遠藤六郷町長

ご苦労さまでございました。

あと2、3日で6月が終わりまして、7月になろうとしております。こうやって、振り返ってみますと、昨年4月1日に合併協を設立して、7月1日に法定協に移行いたしました。それから約1年間にわたりまして、いろんな議論をしていただいたわけでございますけれども、今日で11回目の協議会ということになっております。77の協議をしていただきまして、今日はそのシンボルであります、3町の町章が決定いたしました。

これまでの経過を見ますと、もちろんいろんな面で議論はありましたけれども、大きな波乱もなく、ここまで経過したということ、委員の皆さんのご協力、それから住民の皆さんが、この合併に大きな期待を寄せている、その結果ではないかというふうに考えておりまして、大変ありがたいと思っております。このあとは、大きな協議事項はないように考えておりますけれども、今、事務局のほうから、あとは3町の移転の作業ということでございます。職員の皆さん、何かご苦労が多いと思っておりますけれども、慎重の上にも慎重に、また住民の皆さんに迷惑をかけることがないような、慎重な態度で合併の移転の準備を進めていただきたいと、こんなふうに考えております。

今日は大変お忙しいところを、お集まりいただきまして、大変ご苦労さまでございました。

以上をもちまして、合併協議会を閉じたいと思います。

ありがとうございました。

閉会 午後 3時44分

第11回 三珠町・市川大門町・六郷町法定合併協議会 出席者

平成17年6月28日

水上末雄
青木達雄
有泉嗣男
八木勝
石川章男
有泉勝廣
樋口富一
村松淑子

久保眞一
河西常元
村松武人
秋山詔樹
一瀬絲子
青沼茂樹
波多博
立川貴

遠藤幸利
望月正文
依田洋澄
有野健司
樋川良水
村山敬幸
河西満治
渡邊アヤ子